

平成 28 年度病害虫発生予察情報 特殊報 第 1 号

平成 28 年 6 月 6 日
広島県西部農業技術指導所

1 病害虫名 オオクビキレガイ *Rumina decollata* (Linnaeus)

2 発生作物 レタス

3 発生経過

- (1) 平成28年4月、広島市佐伯区の家庭菜園ほ場において、レタス葉で巻貝による食害が観察された。周辺のビニルマルチや植木鉢の下に、殻高2～3 cm程度の巻貝を多数確認した。
- (2) この巻貝について、岡山大学大学院環境生命科学研究所の福田宏准教授に診断依頼したところ、オオクビキレガイと同定された。
- (3) オオクビキレガイは平成27年に呉市の集合住宅法面で発生が確認されているが、本県での農作物被害は今回が初めてである。
- (4) 本種は地中海沿岸が原産で、国内では1988年に初めて福岡県で確認され、最近では平成28年1月に岡山県で特殊報が発表されている。

4 形態および発生生態

- (1) 幼貝では末広がりの高円錐形であるが、成熟後は殻頂部が脱落して円筒形となる。殻の色は若い個体では半透明で光沢があり、赤みを帯びた淡橙色であるが、老成すると光沢が失われ不透明なベージュ色となる。(図1及び図2)。
- (2) 乾燥耐性があり、空地、荒地、灌木地、小石まじりの草地などに生息する。
- (3) 夜行性で、冬は土に潜って越冬する。
- (4) 雌雄同体であり、自家受精により繁殖可能である。
- (5) 雑食性で、野菜苗や花壇苗など多くの植物で被害の可能性があるが、特に結球レタスへの嗜好性が強い。

5 防除対策

- (1) ほ場周辺の除草や植物残さの除去を行う。
- (2) 石やマルチの下を確認し、発見したら袋などに入れて密閉し処分する。
- (3) 湿った場所を好むため、排水対策を行い、ほ場を乾燥させる。
- (4) 本種は、野菜に付着したり植木鉢やコンテナなどの中や底についたりして、広範囲に移動する危険性がある。生息地では本種の有無をよく確認し、分布拡大しないよう気を付ける。

6 参考文献

- (1) 侵入生物データベース (国立環境研究所)
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/70060.html>
- (2) 松隈明彦・武田悟史 (2009) : 外来種オオクビキレガイ (軟体動物門腹足綱) の日本での分布状況と移動方法 (九州大学総合研究博物館研究報告 No. 7)
- (3) 福田宏・江田伸司 (2014) : 岡山県倉敷市宮前で確認された移入陸産貝類オオクビキレガイ (腹足綱: オオクビキレガイ科) (倉敷市立自然史博物館研究報告 No.29)



図1 オオクビキレガイの形態①



図2 オオクビキレガイの形態②

○病害虫発生情報に関するお問い合わせ先

西部農業技術指導所・西部病害虫防除所（ 東広島市八本松町原 6869

電話 082-420-9662 ）

広島県立総合技術研究所

農業技術センター生産環境研究部（ 東広島市八本松町原 6869

電話 082-429-0521 ）

農林水産局農業技術課

（ 広島市中区基町 10-52

電話 082-513-3585 ）

○病害虫発生予察情報は、広島県ホームページで閲覧できます。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/198/syokubou-t.html>